

令和7年度森林づくり県民税活用事業について

林務部

〈R7予算のポイント〉

第4期森林税の3年目として、各取組を更に加速化し目標達成に向け必要な額を計上

- 森林の若返り促進のため、地域課題を踏まえた支援に継続的に取り組み、全県の再造林を推進
- 県産材の利用の拡大に繋げるため、JAS材等を活用する取組を積極的に支援
- 林業の認知度向上や就業前体験等の支援により、新規就業者の確保や裾野の拡大に向けた支援を強化
- 野生動物による被害防止のための緩衝帯整備や病害虫による枯損木のバイオマス利用などに係る市町村の取組の支援

1 予算額

817,751 千円（基金繰入金）（前年度当初予算額 768,584 千円）前年度比 106%

（内訳）

（単位：千円）

使途の柱	R7 予算額	R6 予算額	増減額
I 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり	386,635	330,780	55,855
II 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり	156,186	153,162	3,024
III 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業体への支援	59,022	60,766	△1,744
IV 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決	208,780	215,350	△6,570
V 普及啓発、評価検証	7,128	8,526	△1,398
計	817,751	768,584	49,167

2 主な事業

- （1）信州の森林づくり事業（人工造林・初期保育の嵩上げ）等
主伐・再造林等の加速化を図るため、人工造林や初期保育への支援のほか、作業の省力化、植栽木の食害対策等に対して支援

◆ 予算額 244,860 千円

- （2）木造・木質化支援事業

広く県民が利用する施設や子どもの居場所の県産材を活用した木造・木質化等を支援

◆ 予算額 62,000 千円

- （3）多様な林業の担い手確保育成事業

小規模林業事業者等の人材確保に係る支援、他産業からの受入に係る支援 など

◆ 予算額 20,768 千円

- （4）市町村森林整備支援事業

緩衝帯の整備や森林病害虫の被害対策などの地域課題解決の取組に対して支援

◆ 予算額 166,300 千円

令和7年度（2025）森林づくり県民税活用事業一覧表

単位：千円

基本方針における区分		令和7年度実施内容	R7予算額	R6予算額	増減	備考			
Ⅰ 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり			386,635	330,780	55,855				
1 再造林の加速化	・主伐・再造林等の加速化を図るため、人工造林・下刈り等の初期保育を支援します。		244,860	174,580	70,280				
	・自走式下刈り機の導入（レンタル）等の省力化等に係る取組を支援します。								
	信州の森林づくり事業（人工造林・初期保育の高上げ）		230,760	161,580	69,180				
	再造林省力化モデル推進事業		12,000	10,000	2,000				
	再造林推進シカ捕獲サポート事業		2,100	3,000	▲ 900				
2 防災・減災のための 里山整備	未整備の里山のうち、防災・減災のための優先的に整備が必要な里山の間伐等の森林整備を支援します。		141,775	156,200	▲ 14,425				
	防災・減災のための里山整備								
Ⅱ 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり			156,186	153,162	3,024				
3 県民が広く親しめる 里山づくり	・より多くの県民が里山の森林に親しむことができるよう「開かれた里山」の整備を推進します。		56,346	79,472	▲ 23,126				
	・地域住民等による里山の森林管理体制を確立するため、整備・利用計画の樹立や資機材導入等の活動基盤整備を支援します。								
	開かれた里山の整備事業						32,874	56,000	▲ 23,126
	開かれた里山の整備・利用推進事業						23,472	23,472	0
4 広く県民が利用する 施設等の木造・ 木質化等	・民間施設等の木造・木質化等を支援し、県有施設の木造・木質化等を推進します。		62,000	40,000	22,000				
	・小中学生等を対象とした木工教室などの木工体験活動を支援します。								
	・県産材を使用した建築物等のCO2固定量の認証や工務店等に対する認証制度の広報活動を推進します。								
		広く県民が利用する施設等の木造・木質化					59,900	38,550	21,350
5 やまほいくのフィールド 整備や学校林の整備等	木造・木質化支援事業		1,500	1,050	450				
	木工体験の推進支援		600	400	200				
	長野県産材CO2 固定量認証		6,000	6,000	0	()内は再掲分			
	自然保育に係るフィールド等の整備を行う認定園に対し整備費用を支援します。		(12,500)	(14,710)	(▲ 2,210)	含む額			
6 まちなかの緑・街路樹の 整備	・地域の里山や学校林を活用して行う森林環境教育を支援します。		31,840	27,690	4,150				
	・信州まちなかグリーンインフラ推進計画に基づく街中の緑地整備を支援します。								
	・街中の緑地保全を推進及び支援します。								
	・景観形成のための街路樹の整備・植樹を推進します。								
	まちなかの緑地整備事業		4,000	4,000	0	建設部			
	まちなかの緑地保全事業等		17,840	13,690	4,150	建設部			
	観光地の景観整備（県単道路橋梁維持修繕費）		10,000	10,000	0	建設部			
Ⅲ 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業者への支援			59,022	60,766	▲ 1,744				
7 森林サービス産業 など森林の多面的 利用の支援	・健康・教育・観光等の多様な分野で森林空間を活用する取組を支援します。		35,964	39,561	▲ 3,597				
	・森林セラピー基地等のガイド等の人材育成及び資質向上のための講座の開催等を行います。								
	森林サービス産業活動支援事業						30,629	33,669	▲ 3,040
	森林サービス産業人材育成支援事業等						5,335	5,892	▲ 557
	森林の里親企業等から申請された間伐等実施地の森林CO2吸収量の評価審査及び認証を行います。						290	252	38
	地球温暖化防止吸収源対策推進事業（長野県森林CO2吸収評価認証制度）								
8 多様な林業の担い手の 確保・育成	自然観察インストラクターや自然公園施設を活用した取組をしている者を対象とした講習会や研修会を開催します。		2,000	2,000	0	環境部			
	信州ネイチャーセンター構築事業								
	林業を支える裾野の担い手となる就業者の確保のために必要な経費を支援します。						20,768	18,953	1,815
	多様な林業の担い手確保育成事業								
Ⅳ 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決			208,780	215,350	▲ 6,570				
9 ライフライン等 保全対策	市町村が実施する以下の取組を支援します。		166,300	175,300	▲ 9,000				
11 観光地の景観や 緩衝帯の整備	・ライフライン等保全のための支障木等の伐採								
	・観光地の魅力向上に向けた森林整備								
12 病害虫被害対策	・野生鳥獣による被害防止のための森林整備						40,000	63,000	▲ 23,000
	・病害虫被害による枯損木の有効活用及び森林外や未被害市町村での被害木処理等								
	市町村森林整備支援 事業	ライフライン等の保全対策	24,300	24,300	0				
		観光地の景観整備	28,000	28,000	0				
緩衝帯の整備		74,000	60,000	14,000					
10 河川沿いの支障木等 伐採	市町村が管理する準用河川区域及びその周辺の河畔林のうち、市町村が行う防災効果の高い箇所での除間伐を支援します。		42,480	40,050	2,430	建設部			
河畔林整備事業									
Ⅴ 普及啓発、評価検証			7,128	8,526	▲ 1,398				
13 森林づくりを推進するた めの普及啓発、森林税事 業の評価・検証	県民の理解を深めるための広報・普及啓発活動等を実施します。		7,128	8,526	▲ 1,398				
	みんなで支える森林づくり推進事業等								
合計			817,751	768,584	49,167				

令和7年度当初予算 森林づくり県民税活用事業一覧

事業区分			R7 予算額 (千円)	R6 予算額 (千円)	前年比 (千円)	目 標			備 考
事業名	事業概要					基本方針 の目標	5年間 の目標	R7年度 の計画	
Ⅰ 森林の若返り促進と安全・安心な里山づくり			386,635	330,780	55,855				
再造林の加速化	①-1	【信州の森林づくり事業 (人工造林・初期保育の嵩上げ)】 主伐・再造林等の加速化を図るため、 人工造林・下刈り等の初期保育を支援	230,760	161,580	69,180	再造林面積 (ha)	2,900	580	後年に向け予算額、目標 値ともに増加していく想 定
	①-2	【再造林省力化モデル推進事業】 再造林の省力化を図るために必要な架線 の設置や自走式下刈り機のリース料等を 支援	12,000	10,000	2,000				
	①-3	【再造林推進シカ捕獲サポート事業】 再造林後の森林の確実な更新を図るため の罾の見回りや機器の保守作業等を支援	2,100	3,000	△ 900				
	小計		244,860	174,580	70,280				
防災・減災のための 里山整備	②	未整備の里山のうち、防災・減災のため の優先的に整備が必要な里山の間伐等の 森林整備を支援	141,775	156,200	△ 14,425	間伐面積 (ha)	1,600	527	
Ⅱ 森や緑、木のぬくもりに親しむことのできる環境づくり			156,186	153,162	3,024				
開かれた里山整備 事業	③-1	より多くの県民が里山の森林に親しむこ とができるよう「開かれた里山」の整備 を推進	32,874	56,000	△ 23,126	県民が広く親 しめる里山整 備利用地域の 箇所数	50	10	
	③-2	地域住民等による里山の森林管理体制を 確立するため、整備・利用計画の樹立や 資機材導入等の活動基盤整備を支援	23,472	23,472	0				
	小計		56,346	79,472	△ 23,126				
木造・木質化 支援事業	④-1	【広く県民が利用する施設等の木造・ 木質化】 民間施設等の木造・木質化等の支援、県 有施設の木造・木質化等の推進	59,900	38,550	21,350	木造・木質化 等の箇所数	55	11	【拡充】 CLT・耐火集成材・JAS材 等を活用した不特定多数 の方が利用する施設に対 する補助上限額を引上げ
	④-2	【木工体験の推進支援】 小中学生等を対象とした木工教室などの 木工体験活動を支援	1,500	1,050	450				
	④-3	【長野県産材C02固定量認証】 県産材を使用した建築物等のC02固定量の 認証や工務店等に対する認証制度の広報 活動を推進	600	400	200				
	小計		62,000	40,000	22,000				
やまほいくのフィー ルド整備や学校林の 整備等	⑤	【信州やまほいく認定団体保育環境等向 上事業】 自然保育に係るフィールド等の整備を 行う認定園に対し整備費用を補助	6,000	6,000	0	フィールド整 備の箇所数	40	8	担当：県民文化部
	⑥	【学びと育ちの森づくり推進事業】 ※地域の里山や学校林を活用して行う 森林環境教育を支援	(6,500)	(8,710)	(△2,210)	学校林整備等 の箇所数	30	6	※⑩-1の内数
	小計		6,000	6,000	0				
			(12,500)	(14,710)	(△2,210)				※⑩-1の内数の再掲分を含 む
まちなかの緑・ 街路樹の整備	⑦	【まちなかの緑地整備事業】 信州まちなかグリーンインフラ推進計画 に基づく街中の緑地整備を支援	4,000	4,000	0	緑地整備の 箇所数	10	5	担当：建設部
	⑧	【まちなかの緑地保全事業】 街中の緑地保全の実施 (14,800千円) 【まちなかの緑地保全補助事業】 街中の緑地保全の支援 (3,040千円)	17,840	13,690	4,150	緑地の 保全延長 (km)	32	9.5	担当：建設部
	⑨	【観光地の景観整備(県単道路橋梁維持修 繕費)】 景観形成のための街路樹の整備・植樹	10,000	10,000	0	整備延長 (km)	20	5.8	担当：建設部
	小計		31,840	27,690	4,150				

事業区分			R 7 予算額 (千円)	R 6 予算額 (千円)	前年比 (千円)	目 標			備 考
事業名	事業概要					基本方針 の目標	5年間 の目標	R 7 年度 の計画	
Ⅲ 森林・林業活動に取り組む多様な人材・事業体への支援			59,022	60,766	△ 1,744				
森林サービス産業総合対策事業	⑩-1	【森林サービス産業活動支援事業】 健康・教育・観光等の多様な分野で森林空間を活用する取組を支援	30,629	33,669	△ 3,040	森林サービス産業に取り組む地域プロジェクト数	50	10	
	⑩-2	【森林サービス産業人材育成支援事業】 森林セラピー基地等のガイド等の人材育成及び資質向上のための講座の開催等	5,335	5,892	△ 557				
	小計		35,964	39,561	△ 3,597				
地球温暖化防止吸収源対策推進事業 (長野県森林CO2吸収評価認証制度)	⑩-3	森林の里親企業等から申請された間伐等実施地の森林CO2吸収量の評価審査及び認証	290	252	38				
信州ネイチャーセンター構築事業	⑪	自然観察インストラクターや自然公園施設を活用した取組をしている者を対象とした講習会や研修会の開催	2,000	2,000	0	エコツーリズムガイドの育成人数	25	5	担当：環境部
多様な林業の担い手確保育成事業	⑫	林業を支える裾野の担い手となる就業者の確保のために必要な経費を支援	20,768	18,953	1,815	多様な林業に関わる新規就業者数	200	40	【拡充】 インターンシップ等の林業就業前体験受入れを対象に追加、体験者の交通費及び宿泊費等の支援他
Ⅳ 市町村と連携した森林等に関連する課題の解決			208,780	215,350	△ 6,570				
市町村森林整備支援事業	⑬	【ライフライン等の保全対策】 ライフライン等保全のための支障木等の伐採	40,000	63,000	△ 23,000	整備箇所数	150	20	
	⑭	【観光地の景観整備】 観光地の魅力向上に向けた森林整備	24,300	24,300	0	観光地の景観整備箇所数	100	20	
	⑮	【緩衝帯の整備】 野生鳥獣による被害防止のための森林整備	28,000	28,000	0	緩衝帯の整備箇所数	100	35	
	⑯	【森林の病虫害被害対策】 病虫害被害による枯損木の有効活用及び森林外や未被害市町村での被害木処理等	74,000	60,000	14,000	枯損木利活用材積 被害木処理材積 (㎡)	10,000 5,400	2,800 800	
	小計		166,300	175,300	△ 9,000				
河畔林整備事業	⑰	市町村が管理する準用河川区域及びその周辺の河畔林のうち、市町村が行う防災効果の高い箇所での除間伐を支援	42,480	40,050	2,430	整備箇所数	70	17	担当：建設部
Ⅴ 普及啓発、評価検証			7,128	8,526	△ 1,398				
みんなで支える森林づくり推進事業	⑱	県民の理解を深めるための広報・普及啓発活動等	7,128	8,526	△ 1,398	-	-	-	
合 計 (a)			817,751	768,584	49,167				

※千円未満の四捨五入により合計が一致しない場合がある

現状

計画的な主伐・再造林の推進により、今後10年かけて80年サイクルで更新する仕組みを構築するため、以下の取組を実施

- 再造林やその後の初期保育に必要な標準的な経費を全額支援することで、森林所有者の負担軽減を図る
- 架線を使用した資材運搬の経費支援のほか、再造林や初期保育の経費軽減につながる林地残材の搬出支援
- 二ホンジカ等の食害から植林後の苗木を守るため「わな」の見回り、併せて行う機器やシカ柵の点検等への活動経費を支援

⇒ 5年後の（R9）の再造林面積を年間1,000haとする（R 7再造林目標面積680ha）

課題

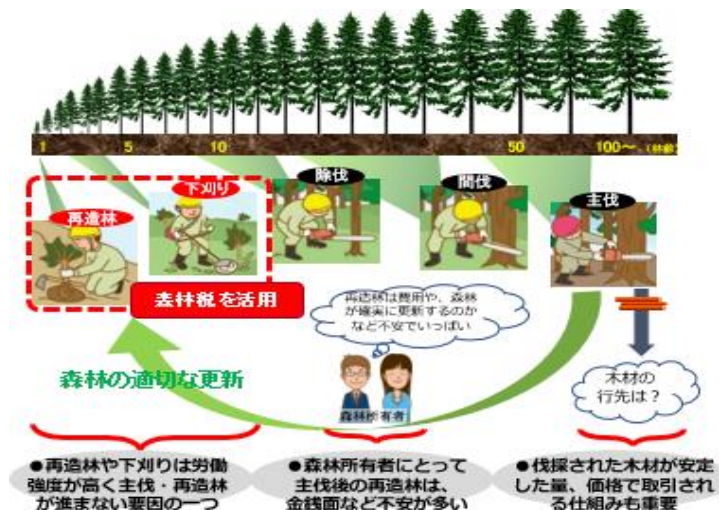
- 地域によっては地形が急峻で森林作業道の開設が困難であること等から、その進度に地域差が生じている
- 主伐・再造林等実施後の林地残材は、災害時に河川閉塞を及ぼす危険性があり、その後の植栽や保育作業にも支障が生じている
- 二ホンジカ生息密度が高い地域では捕獲等の対策が追い付かず、植栽木が食害を受け、森林の更新に支障が生じている

主伐・再造林の確実な推進に向け、課題に対応するための事業を実施

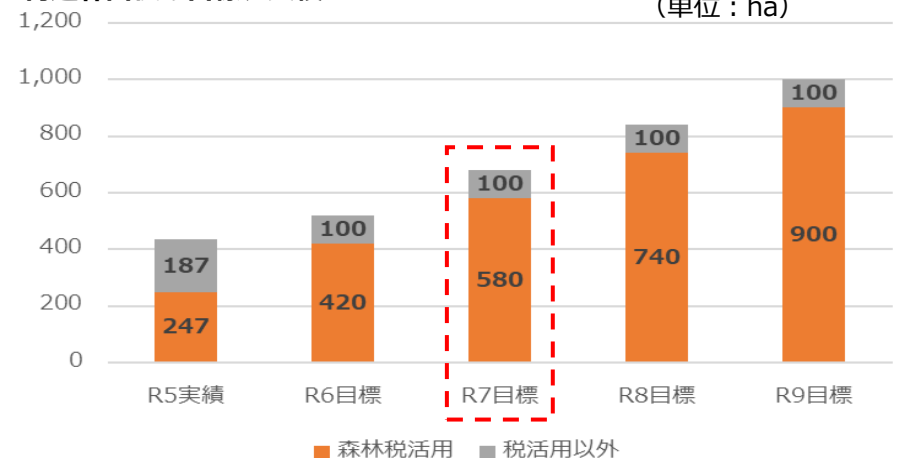
- 【継続】（1）長野県主伐・再造林推進ガイドラインに基づく再造林とその後の下刈り等に必要な標準的な経費を全額支援（230,760千円）
- 【継続】（2）地形が急峻で森林作業道の開設が困難な地域において、架線の架設撤去や、保育等に係る機械経費を支援（12,000千円）
- 【拡充】（3）再造林の省力化、枝条の流出により土砂災害を未然に防止するため、伐採時に発生する林地残材等を搬出する経費を支援
- 【継続】（4）二ホンジカ等の食害から苗木を守るため「わな」の見回り、併せて行う機器やシカ柵点検等の活動経費を支援（2,100千円）

補助率：10/10※（国庫及び一財 7/10、森林税 3/10）

・森林税：11.3億円（5年間）※標準的な経費に対する補助率



再造林面積の目標、実績



- 地形が急峻で森林作業道の開設が困難な地域において、「空の道」とも言われる架線を活用した主伐・再造林及び保育等に係る経費を支援

○ 補助率等

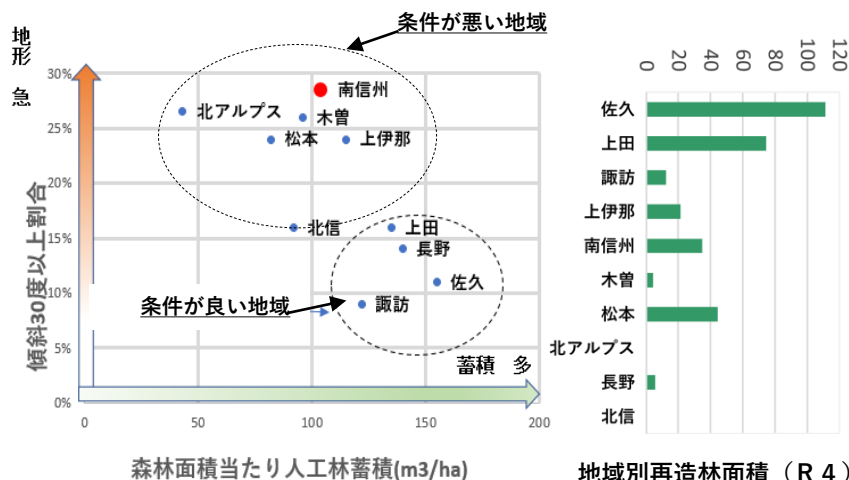
- ・事業主体：市町村、森林組合、生産森林組合、NPO法人、森林所有者 等
- ・補助率：定額、9/10
：架線の架設・撤去に係る支援、自走式下刈り機等のリース支援
- ・事業目標：再造林面積 580ha (2025年度)

R6実績(見込)

- ・架線系 7箇所
- ・リース支援 2箇所

1 主伐・再造林を進める上での課題

- 南北に広い県内は地域によっては、地形が急峻で森林作業道の開設が困難であることから、主伐後の再造林等の推進に地域差が生じている
- 主伐時に搬出されなかった枝条等が林地に残され、有効活用されず、再造林の際、植栽の支障となっている
- 再造林が進んでいる地域では、下刈り等の保育作業が担い手不足により、再造林に支障が生じている



課題に対応するため、県内でモデル的に実施

2 取組内容

- 架線を活用した資材運搬等により再造林の効率化

- 架線を活用した全木集材による資源の有効活用

架線等を活用し、一貫作業による主伐から再造林までの実施及び再造林に必要な苗木、資材等を運搬を行う場合、架線の架設に係る標準的な経費の一部を支援



- 自走式下刈り機や苗木運搬機械等による省力化・労務軽減化

植栽・下刈り等の省力化に資する自走式下刈り機等のリース料の一部を支援



人力からの転換による省力化



下刈りは植栽木の育成に必須
炎天下の作業で重労働(腰痛の原因)

リース支援対象機械の一例(乗用下刈り機)

建築物への支援（非住宅）

新技術を活用した大規模な商業施設等における木造化に対する補助上限を引上げ

内 容

<補助上限>
30,000千円

↑
拡充
(先駆的)
5,000千円



【イメージ】

【事業概要】

- 事業主体 : 民間事業者・団体 等
- 補助率（上限額） : 1 / 2 以内
(30,000千円以内/ 1 件)

【事業イメージ】

県→支援→民間事業者・団体 等

多くの県民が利用し、木の良さが伝わる建築物等の木造化・木質化を支援
(施設の具体例) 飲食店、商業施設、観光施設、医療施設、福祉施設等

- CLTや耐火集成材、接着重ね梁などの新技術やJAS 構造材等を活用して施設を整備するもの
- 補助額が10,000千円を超える場合は「建築物木材 利用促進協定」を締結

事業実績（R 5 : 7 件）

保育園（ころぼっくるこども園 長野市）

- ・ 施設の外壁、ベランダ床の木質化
- ・ 使用木材：スギ、ヒノキ



協定について

「建築物木材利用促進協定」とは事業者等が国又は地方公共団体と協働・連携して木材の利用に取り組むことで、地域材の利用を促進し、川上から川下が連携した木材の安定的な供給体制の構築を図るものです。

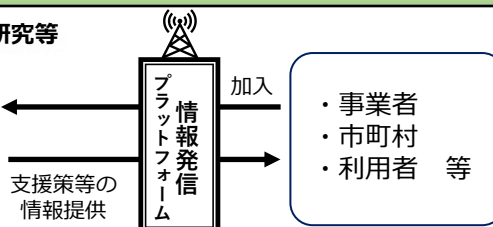
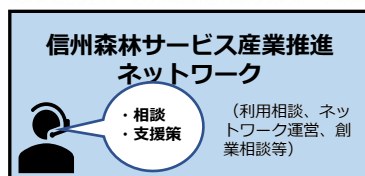


- 「信州森林サービス産業推進ネットワーク」を通じて、森林の健康、教育、観光等の分野での活用に向け、様々な支援策の情報発信や相談対応を行うとともに、**創業時の支援や活動支援、人材育成等**の地域の課題に対応

1. 推進体制の構築

3,621千円

情報交換、相談窓口の設置、共同研究等



- ・森林サービス産業に関心のある事業者、地域同士の交流を促進
- ・ネットワークを通じた、人材育成（森林ベンチャースクール）、伴走支援、補助制度により地域の取組を後押し
- ・プラットフォームにより、支援施策や地域の活動等の情報を積極的に発信

4. 森林空間の整備と森林の利活用

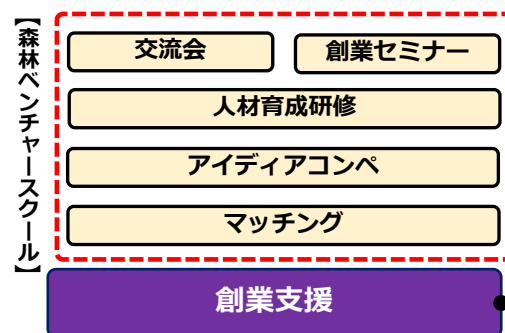
森林空間の整備、林内施設等の整備 14,900千円
(森林整備9/10、施設整備1/2)

森林を活用した環境教育等 6,500千円
(森林整備9/10、活動経費10/10)

企業との連携による森林づくり 1,142千円
(森林の里親促進事業)

2. 創業支援・活動支援等

4,466千円



創業支援

創業支援

“新たに森林サービス産業に取り組むスタートアップを支援”

- ・補助率：10/10、最長2年間、
- ・補助上限100万円
- ・新分野の事業からの参入（第二創業）可
- ・補助金受給後2年以内に創業・第二創業
- ・補助経費
(人件費、謝金・旅費、需用費、委託費(ソフト)等)
- ・他事業との併給不可
- ・県の森林サービス産業推進への協力を条件

3. 森林の利活用を導く人材の育成

5,335千円

- 森林利活用地域コーディネーターの育成
- 森林の癒しガイド人材の育成
- 里山利活用人材の育成



コーディネーター育成

ガイド育成

人材の交流

ネットワーク
運営委託



県

創業・活動
支援委託



人材育成
業務委託



- ▶主伐再造林の推進など、ゼロカーボン実現や林業振興のための森林整備を支える**林業人材を着実に確保・育成するため、林業労働力関連施策を拡充**
- ▶これまでの施策に加え、「林業の仕事」を知り「自らの適性」を把握するための就業前体験への支援や、移住・転職者への新規就業支援金等の対象の拡充、多様な人材が働きやすい就労環境の整備など、効果的に施策を講じることで、**全国から人が集まるような働きやすい林業県づくりを推進**

令和 7 年度重点施策

（ A B C : 事業の対象者（次ページ））

①新規就業者の確保 A B

拡 転職・移住者等への支援金給付等 25,792千円

- ・他県から移住して就業した際の支援金(60万円or100万円)
＜働いていない人やフリーター等を対象者に追加＞
＜全ての市町村を対象に拡充＞

- ・林業への新規参入者に対する支援金(10万円/人)
＜働いていない人やフリーター等を対象者に追加＞
- ・先輩就業者への相談体制の構築

就業希望者へのセミナーの開催等 7,198千円

- 【拡充なし】
- ・共同就職説明会(年2回)、林業セミナー(年6～7回)

拡 兼業及び就業前体験受入れ支援 3,570千円

- ・兼業、林福連携、林業就業体験の受入れ支援
＜インターンシップ等の林業就業体験を対象に追加＞
＜体験者の交通費及び宿泊費の支給を追加＞

②保育従事者の確保 A B

保育従事者新規雇用支援 12,436千円

- 【拡充なし】
- ・保育従事者の確保のため林業従事者が前年度から増加した際の奨励金
(12万円/月(最長3ヶ月分))
 - ・新規採用者に対する資格取得補助

拡 保育従事者のマッチング 7,081千円

- ・保育従事者を雇用する事業者と素材生産事業者の圏域を越えたマッチング
- ・主伐・再造林を推進するための専門的な見地からの指導・助言
- ・一人多役の働き方の推進
＜コーディネータの配置＞

③多様な担い手の確保 B

拡 多様な林業の担い手確保支援 13,898千円

- ・新規就業者に必要な機械等に対する事業者への準備金(10万円/人)
- ・労働安全衛生対策(1/2)、福利厚生(1/3)の支援
＜労働安全衛生対策の支援を毎年拡充＞
- ・新規参入資格取得支援
- ・外国人材就業検討
＜受入れに向けたより実践的な研修会等の開催＞
- ・中学校の職業体験、イベント開催等認知度向上

④創業チャレンジの応援 B

創業による新規事業展開支援 6,000千円

- 【拡充なし】
- ・創業に必要な機械等の導入(1/2)
 - ・上記のほか制度資金による設備、運転資金の支援

⑤定着促進 A

持続的な林業経営支援 7,320千円

- 【拡充なし】
- ・キャリアモデルの作成
(優良モデルの分析や紹介)
 - ・経営力、生産性の向上
(スキルアップ講座)

拡 安全対策の強化 13,036千円

- ・労働安全衛生対策の支援(1/2)
＜支援を毎年拡充＞
- ・巡回指導、安全講習、指導者の育成

就労条件の整備 16,501千円

- 【拡充なし】
- ・退職金共済掛金、特殊健康診断、蜂アレルギー検査等補助(1/3)

木曽谷・伊那谷フォレストバレー A B C

専門人材の育成(再掲) 1,471千円

- 【拡充なし】
- ・リカレント教育プログラムの研究、開発

新 新たな働き方の創出(再掲) 1,320千円

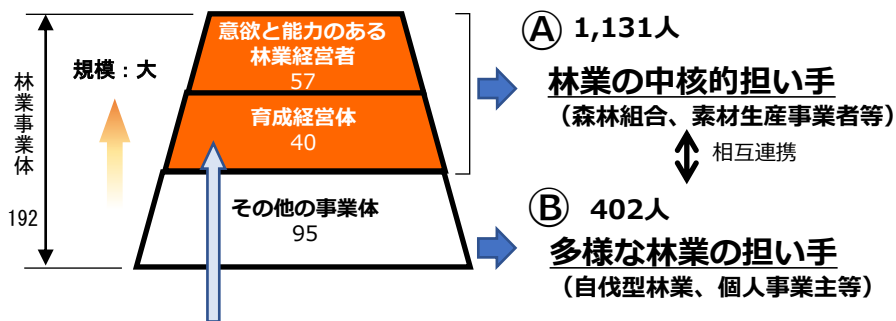
- ・働く場の創出、セミナー開催
＜新たな働き方の仕組みを構築＞

林業人材の確保・育成（就業に係る各段階での支援策等）

- 林業就業者の確保に向け、裾野の拡大から就職、就業後の定着促進に至るまで、**各段階での体系的かつ総合的な支援策を措置**
- これにより、ここ4年増加傾向にある林業就業者について、**新規就業者120人/年を確保し、主伐・再造林を推進**（5年間で最大100人の増員（就業者1,500人→1,600人）を目指す）

事業体（就業者）の構造

人材の確保・育成 R5：1,533人（R4：1,501人、R3：1,499人）



就業後（定着促進）
〔事業者向け〕

A 林業の中核的担い手

- **新規就業者の育成（緑の雇用）**
 - ・就業準備金
 - ・研修費用・指導者130～140万円/人
- **就業環境の整備**
 - ・退職金共済加入等福利厚生充実
 - ・安全装備
- **スキルアップ**
 - ・スマート林業、高性能林業機械

B 多様な林業の担い手

- **多様な林業の担い手対策**
 - ・就業準備金
 - ・兼業、林福連携支援
 - ・安全福利厚生対策
 - ・起業・創業支援

A B 共通 ■ 保育従事者の確保・新規就業者の確保

- ・圏域や産業の枠を越えた労働力のマッチング、新規雇用の奨励、資格取得支援
- **林業労働安全の強化**
 - ・安全巡回指導、安全装備、指導者の育成等

目標： 新規就業者120人/年
(過去5年平均約100人/年)

特徴： 他産業からの転職（約6割）が多い
県外からの移住（約3割）

森林・林業を学びたい者、
起業を考えている者等

就業意欲の喚起

林家、地域リーダー、他分野事業者等
森林に関心を持つ者
(就業希望者や学生等、移住者を含む)

③ 林業人材の育成 イノベーション

④ 森林の利活用人材 森林・林業の理解者

林業事業体への就職

就業準備・支援
〔個人向け〕

- A B ■ **転職・移住支援**
 - ・キャリアスタート（新卒・転職）10万円/人
 - ・移住支援60万円or100万円/人
- **情報の収集**
 - ・林業セミナー（年6～7回）
 - ・林業前研修
 - ・現場見学会（年数回）

■ 相談体制の構築

・先輩就業者の相談窓口の設置

■ 将来像の提示・定着促進

・キャリアモデルの作成

■ 就職先とのマッチング

・共同就職説明会（年2回）・就業相談
・一人多役・就業前体験

裾野の拡大

⑤ ■ 木曽谷・伊那谷フォレスト バレーの形成

- ・運営協議会の運営
- ・メインプロジェクトの実施
(高度専門人材育成プロジェクトほか)
- ・関連プロジェクトへの補助

⑥ ■ 林業の認知度の向上

- ・森林環境教育、学校林の活用等
- ・中学生の職業体験、高校生体験研修
- ・イベント、森林・林業体験
- ・林業就業等の情報発信

⑦ ■ 地域人材の育成

・コーディネーター、地域リーダー育成

⑧ ■ 外国人材就業検討

・受入れ体制の整備

- ライフライン沿いの危険木の伐採や森林外等の国庫補助対象外の病虫害被害対策など、地域の課題解決に向けた市町村による森林整備の取組を支援
- 令和6年度のツキノワグマによる人身事故や目撃状況を踏まえ、市町村による「緩衝帯の整備」を積極的に支援し、野生鳥獣による被害防止のための森林整備を加速化

区分	事業内容（補助率）	R7 予算額 （案）	R6 予算額	R7事業目標 （5年間）
ライフ ライン等 の保全対策	○ライフライン等保全のための支障木の伐採（9/10以内）  支障木等の伐採	40,000 千円	63,000 千円	20箇所 (150箇所)
観光地の 景観整備	○観光地の魅力向上に向けた森林整備（9/10以内）  実施前  実施後	24,300 千円	24,300 千円	20箇所 (100箇所)
緩衝帯の 整備	○野生鳥獣による被害防止のための森林整備（9/10以内）  実施前  実施後	28,000 千円	28,000 千円	35箇所 (100箇所)
森林の 病虫害 被害対策	○病虫害被害による枯損木の有効活用（9/10以内） ○森林外や未被害市町村での被害木処理等（1/2以内）  枯損木の活用  被害木の処理	74,000 千円	60,000 千円	3,600m ³ (15,400m ³)